

## 新緑の芦津を満喫 ～ 5月の草花を学ぶ～ を開催しました。

5月13日（土）、全県からの参加者20名が、智頭町芦津にあるセラピーロードで植物観察を行いました。植物・生物の専門家講師の解説付きで、清流や植物からあふれるマイナスイオンを感じ、360度新緑に囲まれながら、講座を実施しました。



ウメガシマについて解説する、前田さん（右）

前田雄一さん（前田森林植生研究所）と、一澤麻子さん（鳥取県生物学会）の各講師のグループに分かれて観察。フデリンドウのつぼみやタチツボスミなどの花もありました。また、植物の名前だけでなく、降雨・積雪の多い日本海側のブナ林の特徴や、太平洋側との松の葉の開き方の違い、乾燥した岩場と水分条件の良い岩場など、環境に適応した植物の生え方についても学びました。



葉を香ってもらいながら解説する一澤さん（右）



坂本龍一氏も抱きしめたというスギの大木



日常の喧騒から離れ、自然を感じるべく、昼食も屋外で。川の音と鳥の声を聞きながら、例年の講座とは違う昼食時間を過ごしました。



フデリンドウのつぼみ



セラピー弁当